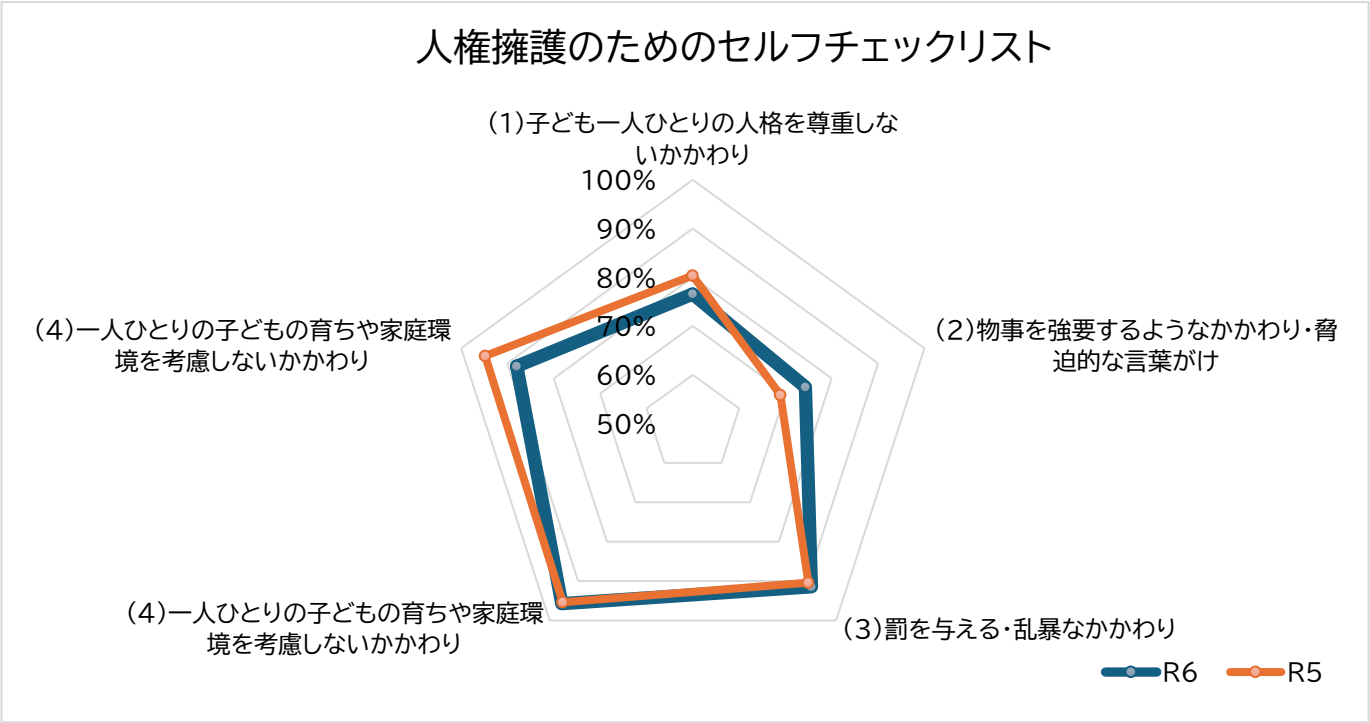

令和6年度　自己評価（保育教諭）

【実施内容】

- 「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を個々に実施。
- 「チェックリスト」をもとに、職員全体で日常保育についての振り返りと課題点を共有し、明日からの保育へと活かしていく。

【見えてきた課題】

✓ 職員自身が行事前や会議など、時間に追われ気持ちに余裕が持てない状況下になると「待ってて」「後で」といった忙しい気持ちを最優先した声掛けが多くなる。
✓ 大人都合の声掛け。（例　おしっこ出ないの訴えにもトイレへ行くよう促す　等）
✓ 集団行動を優先しようと、子どもを一斉に動かそうとする声掛け。

【対応策は？】

✧ クラス単体での保育ではなく、必要に応じてクラスの枠を外して「子どもを見合う保育」を実施していく。
✧ 見合う保育を実現するにあたり、職員自身が互いに声を掛け合える関係性作り。（職員間のコミュニケーション）
✧ 会議や園内研修を通じて、保育場面での悩みや疑問を職員同士で語り合い、解決策を見出していく。
✧ チェックリストを実施しながら、定期的に自らの保育内容を振り返っていく。

「自分は大丈夫」といった自己過信ではなく、時には自分の保育や関わり方は子どもにとってどうなのかを意識しながら保育することが大切と感じる。